



# SAKAIGI JHS

## 境木中学校学校だより 2020th

令和2年7月16日



横浜市立境木中学校  
校長 岡本 実浩

〒244-0802 横浜市戸塚区平戸 3-48-2 TEL 045-822-8626 Fax 045-826-3826

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/sakaigi/>

《学校教育目標》 社会とつながり、主体的に学び続け、未来を創る力を育みます。

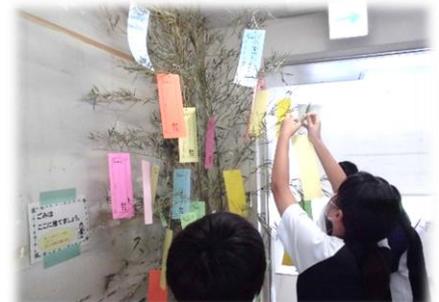
### 第三期 部活動再開

7月に入り、新型コロナウイルス感染症対策の「新しい学校生活」の中、ようやく、部活動を再開しました。この学校だよりでは、コロナ禍の部長の「思い」や「目標」を発信してもらうこととしました。3年生は最上級生となり、2年生も先輩となります。

例年ならば目標とする大会やイベント・行事等が、今年は開催されない環境です。その中において、各部の部長の皆さんが、目標を掲げること自体、難しく酷なことです。それにも関わらず、部長としての思いを、心を整え、言葉を紡ぎ、文章にして表現してくれました。

部長の皆さんは、この環境の変換を柔軟に対応し、仲間と共にある喜びや周囲の方々への感謝の思いを示していました。この文章を読まれる方々は、改めて、子どもたちのもつ「未来へ向かうエネルギー」とその可能性を感じられるのではないのでしょうか。そして、今よりも更に生徒同士が心を合わせ、濃い時間をこの境木中学校で過ごすことを想像されるだろうと思います。

創立52年目、コロナ禍の境木中学校ではありますが、生徒たちの姿から、「やはり、学校は生徒の手によって創られる」と気付かされます。一カ月前には、到底、想像できなかった力強い姿が、ここにあり、コロナ禍でも、生徒同士が思いや目標を共有して活動する姿に教職員は力をもらっています。保護者や地域の皆様、今後ともご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



「引退試合で先輩が悔いのない試合ができますように」

### 先輩からのメッセージ！ セパタクロー強化指定選手

先日の「タウンニュース」の保土ヶ谷区版と平塚版に掲載された加藤智輝さん（23歳）は、境木中学校の卒業生です。「人物風土記」のコーナーに「常に全力で挑戦し続ける」と題して、輝く笑顔と共に紹介された加藤さんは、昨冬、セパタクローという競技の日本代表として試合に出場できる強化指定選手になりました。世界を目指す選手である加藤さんから、部活動が再開する境木中学校の生徒の皆さんへ、**特別にメッセージ**が届きました。

私は中学高校と野球部に所属し、最後の大会に懸けていました。それを失った悔しさ、辛さは正直考えられません。

そんな皆さんにはぜひチャレンジをしてほしいと思います。小さな事でも！新しい事に！今までやってきた事にプラスで！

私は大学入学後にセパタクローという競技に出会い挑戦する機会を得ました。皆さんの活躍の場はこれからです！この状況を挑戦するチャンスと捉え、前を向き進んでください。（加藤智輝さん）



# 部活動再開！目標に向かって

## 「残された時間を…」

野球部 部長 3年2組 中川 暖記

新型コロナウイルスの影響によって今までは当たり前のように行ってきた部活動ができなくなり、仲間の気持ちや友情が離れていかないか不安でしたが、再開しても以前と変わらない温かい雰囲気です。安心して、安心して。今までは試合に勝つことや野球がうまくなることが目標でしたが、これからは残された少ない時間をいかに楽しく過ごせるかが求められていると思っています。

## 「チームへの想い」

バレーボール部 部長 3年2組 竹田 陽菜

私の目標は、引退試合で悔いのない試合をすることです。私は入部が1人だったこともあり、いつも誰かに頼りっぱなしでした。しかし、後輩ができてから、少しずつ成長できたと思っています。私たちのチームは何かあるたびに沢山悩んだり話し合ったりしています。私はこのチームが大好きです。このチームだったからこそやってこれました。引退まであと少しです。皆でできる練習時間を大切に、心を一つにしてチーム皆で一勝を目指したいです。

## 「目標」

男子バスケットボール部 部長 3年2組 町田 揺来

僕たちの目標は、「関東大会出場」でした。しかし、その目標をかなえることはできませんでした。目標は達成できませんでしたが、僕たちはバスケットボールができるうれしさや楽しさを改めて感じることができました。最後に区で大会があります。今はその大会で優勝できるように、必死に練習したいと思います。

## 「今を大切に」

女子バスケットボール部 部長 3年2組 遠藤 七海

今年は新型コロナウイルスの影響で思うように活動することができませんでしたが、今活動できることに感謝し、一つひとつの練習を大切にしていきたいです。また、8月には私たちの引退試合となる区大会があります。悔いの残らない試合になるように頑張ります。

## 「引退試合に向けて」

サッカー部 部長 3年4組 藤田 雄大

新型コロナウイルスという猛威に振るわれる中、休校措置がとられ、大きな大会がなくなり、小規模の大会が開催されることになりました。まだまだ再開して間もない中で大会であり、制限された時間の中でどれだけ内容の詰まった練習をできるかが重要になってくると思うので、これからは今までよりもっと1日1日を大切に、練習に取り組んでいきたいと思っています。また、後悔のないように最後の大会に向けて頑張っていきたいと思っています。

## 「最後の試合に向けて」

男子ソフトテニス部 部長 3年1組 加藤 健太

男子ソフトテニス部では、団体戦で県大会に出場することを目標に頑張ってきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で3月より休校になってしまい、練習や試合が出来ず、中には残念に思った人がいたことでしょう。そんな中、6月より学校が、7月より部活動が再開されたので、最後の大会に向けて頑張ろうと思います。区大会だけで終わりになってしまいますが、悔いが残らないように練習して試合に臨みたいです。

## 「我が境木」

女子ソフトテニス部 部長 3年4組 大村 汐璃

私たち女子ソフトテニス部は夏の大会で目標を達成するために日々懸命に練習に取り組んでいます。主に練習メニューや時間配分、アドバイスなどは自分たちでします。自分たちで一から決めることで責任感や決断力がつきました。引退試合の最後の1点まで全力で戦えるようにこれからも全力で頑張ります。

# 各部長の思いをお伝えします

## 「最後の夏」

水泳部 部長 3年1組 松崎 暁士

今月、部活が再開して、新たに目標にしたいのは、区大会で皆が悔いのないような結果を残すことです。今回、休校で、いつもと全く違うスタートとなり、体がついていかないこともあると思います。しかし、そんな中だからこそ、皆が目指した結果を勝ちとることで、僕ら3年生は部活を快く引退でき、1、2年生も次の活動の原動力になると思います。顧問の先生方を頼りながらも、この目標に向かって努力していきたいです。

## 「あきらめずに最後まで」

吹奏楽部 部長 3年2組 鈴木 結

コロナウイルスの影響で、様々なイベントがなくなり、今年のメンバーで演奏する機会が減ってしまいとても悲しく思います。でも、ずっと落ち込んでいても何も変わらないので、気持ちを切り替えて悔いの残らないように、全力で最後まで頑張りたいと思います。

これから三年生が活動できる期間はとても短いですが、みんなと楽しく「心に響く音楽」を出来るように、毎日笑顔で明るく部活動をしていこうと思います。

## 「三ヶ月の目標」

茶道部 部長 3年3組 山口 心実

自粛期間が終わり、七月になってやっと部活動が再開されました。私たち三年生は十月の仮引退まで残り三か月しかないので、新一年生、二年生に厳しくお作法を教えなければいけません。自粛期間の間、ずっと活動ができていなかったため、ほとんどの部員がお作法を覚えていませんでした。だから、残りの三ヶ月間で思い出しながら、前よりも綺麗なお作法を目指して、にぎやかだけれどメリハリをつけられる部活動にしていきたいと思います。

## 「悔いを残さないために」

バドミントン部 部長 3年1組 大高 優希

私は、このコロナ休校期間中ずっと、引退試合がなくなってしまうんじゃないか、そしてそのまま部活ができないまま引退となってしまうんじゃないかという危機感と不安感でいっぱいでした。しかし、引退試合が決まりました。区大会のみでそれ以上の大会には続きませんが、一生懸命練習して全力で勝ちを狙って行きたいです。これまで部活動を支えてくれた全ての人に、また、試合の開催にあたって動いてくださった全ての人に、感謝の気持ちをもって臨みたいと思います。

## 「皆が楽しめる部活を目指して」

美術部 部長 3年1組 大場 万璃渚

今年度、コロナのため、4月から満足な活動が出来ていない状況です。手洗いを普段より行ったり、活動時間が短くなったりしています。フェイスペイントも行えず、学校行事も減り、私たち部員の楽しみにしていたことが次々になくなりました。

その中でも、部員の成長のために話し合いを行い、学年問わず仲良く交流ができ、皆が楽しめる部活動にしていく事が目標です。

## 「今年は！」

マルチメディア部 部長 3年2組 大濱 慧悟

今年はコロナの影響で、活動場所が日常パソコン室と限定されているマルチメディア部は、活動ができなくなりました。例年ですと、文化祭に向けて、「サカイギマン」「境木中学校の1番長い日」等の長編動画制作に没頭し、マルチメディア部の力を見せるのですが、夏休み明けからの活動再開に心を躍らせて、今年は昼食時に流せる短編動画を数本製作したいと考えています。

## 今年度初の「生徒会朝会」は、視聴覚室から発信

7月6日、「生徒会朝会」が行われ、各委員が学年目標や学級目標を発表しました。



1 学年委員長  
桐村恵菜さん



2 学年委員長  
保坂はなさん



3 学年委員長  
福井 隆哉さん



「生徒会朝会」の終了後、生徒会メンバーは、すぐに集まり、振り返りを行いました。

生徒会役員が司会進行し、生徒会長や学年委員長、学級委員が、全校生徒に学年目標や学級目標等を発表しました。また、視聴覚室で話すその様子を放送委員会が、ビデオカメラで撮影し、全学級に配信するなど、複数の**委員会のコラボレーション**で、生徒会朝会が展開しました。



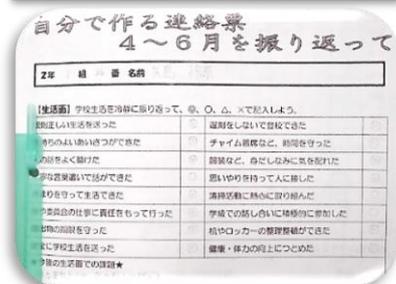
自治活動

## 自分づくり・パスポート「自分で作る連絡票」

1人ひとりのキャリア形成と自己実現を目指して、キャリア教育※をすすめています。学校が始まって1ヵ月。学活の時間に「自分で作る連絡票」を記入し、4～6月の振り返りを行いました。

キャリア教育※では、様々な教科等の学習活動を通して学んだことが、バラバラにならないように、学活を「要」にしなが、各教科等で学んだことを**振り返って、関連を考え、気付くこと**を大切にしています。生徒が、活動を記録し蓄積する教材「自分づくり・パスポート（キャリア・パスポートの横浜での名称）」は、学びのプロセスを記述し、振り返ることができる**ポートフォリオ的な教材**です。学年が上がっても、引き続き活用し、高校進学後も中学校から持ち上がり活用される予定です。

キャリア・パスポートは、1人ひとりが、**新たな学習や生活への意欲**に繋がったり、**将来の生き方**を考えたりする活動に役立てていきます。保護者の皆様には、確認のサインをいただく等、協力をお願いいたします。



※一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通してキャリア発達を促す教育。

### 本校に着任

## スクールソーシャルワーカー 古田 未空 さん

誰もが・安心して・豊かに学校生活を送るために・・・  
生活相談うけたまわります！



こんにちは！スクールソーシャルワーカー（SSW）の古田未空です。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、長い休校期間が続きました。子どもたちも保護者の皆様も、不安な日々を過ごされたことと思います。生活の不安やお子様との関係など、お困りのことがありましたら、どうぞご相談ください。一緒に解決、解消に向けてのより良い方法や手立てを考えさせていただきます。